

健康・生きがい就労関連
就労開発・支援事業

(担当：遠座)

3月の動き

就労開発・支援事業

(各地の健康・生きがい就労トライアルの動き)

①健康・生きがい就労及び自治体関連の進捗

◎宝塚市

3月1日(金)健康・生きがい就労トライアル市民向け募集説明会(市立中央公民館 ホール)

本説明会は市のイベントとしては極めて異例の盛況ぶり、2月8日9時半の受付開始後15時に定員40名を超える申込みがあり、説明会には46名が参加されました。

説明会の中では、昨年就労トライアル者を3名受け入れられた宝塚栄光園(特養)から事業者と就労参加者からの感想などが紹介され、多くの参加者が各事業所の個別説明会に進まれました。

なお、生駒市福祉健康部から4名、伊丹市から社会福祉協議会常務理事の見学がありました。

◎大東市

3月4日(月)就労トライアル参加者にヒアリングのためデイサービス・りんくを訪問

大東市役所介護保険グループの担当者と一緒にトライアル参加者や雇用事業者にお話を伺いました。

就労者Kさん(写真)は3時間/日×2日/週、利用者へのお茶出し、入浴後の髪のドライヤーかけをされています。

「家でボーっとしているより時間が充実すると思い参加した。このスタッフは、利用者膝をついて同じ目線で接するなど、優しく働きやすい。このような施設があることが判って自分の将来にも安心感がわいた。自分のまわりでも一人で時間をつぶす人が少ないので、友達に勧めたい。この事業のことは皆さんに知ってもらいたい」

雇用事業者(現場責任者)からは「利用者目線で仕事を丁寧にして下さっている。何かやることはありませんか?と、直接介助のこと以外は何でもやってくれ、助かっている。今後も継続して



働いてもらいたい」

また、経営者の方からは、「今まで通り介護職が何でもやるやり方ではダメだと思っていたので、ちょうど仕事を見なおすチャンスだと思い、市の事業に参加した。結果は良好で、今後も仕事の分業化を進め、補助の方々を採用していきたい」と評価していただきました。

◎枚方市

3月7日(木)枚方市の企画部門に健康・生きがい就労トライアル事業説明

ソフトバンクCSR部担当部長 門屋氏の紹介で枚方市役所の政策推進課に伺いました。

「当初は高齢者が働くということに対し大丈夫か?と懐疑的だった。これまで市は高齢者に対し趣味などの活動を奨励する方向でやっていたが、宝塚や高槻市での実績や、この就労トライアルが子育て支援等波及効果が大きいこと、お金もかからない事業ということで、枚方市でもぜひ取り組んでいきたい。担当の健康づくり・介護予防課に話を通しておく」とのことでした。

◎大阪府

◆3月8日(金)健康・生きがい就労トライアルオンライン研修 ビデオ収録

大阪府から大阪ええまちプロジェクトを通じて依頼があり、この時期忙しい府下の自治体、地域包括担当者向けに、オンライン研修用に50分間のビデオ収録をしました。

◆3月27日(水)大阪府・大阪ガスネットワーク株式会社が健康・生きがい就労の連携協定を締結
高齢者の健康・生きがい就労等を推進する大阪府福祉部と大阪ガスネットワークの社会貢献部門が連携協定を結ばれ、その調印式に同席しました。

大阪府/報道発表資料/大阪ガスネットワーク株式会社との高齢者の健康・生きがい就労等に向けた連携に関する協定について(osaka.lg.jp)



健康・生きがい就労関連
就労開発・支援事業

(担当：遠座)

◎兵庫県 山口、遠座

3月15日（金）兵庫県企画部へ高齢者スマホ講座について説明

「県の予算委員会で議員から、高齢者が高齢者にスマホを教える講座を行なっている団体があると聞いた」との連絡があり、兵庫県庁情報政策課に、スマホ講座担当の山口理事と一緒に訪問しました。

「兵庫県はデジタル格差対策のため、①“高齢者等スマホ講座事業”を4キャリアと一緒に実施、②“スマートひょうごサポーター養成事業”を某社に委託し20の市町で実施しているが、①はキャリアが同一機種スマホを貸し出して行なうプログラムのため、参加者自身のスマホを各自が使えるようになる講座にはなっていない。また②はロールプレイングが中心の講座で大分こなれてきたが、講座修了者のその後の市民サポートなど活動実施状況については全くフォローできていない。そして①と②は連携していない」と私たちの活動に大変興味をもたれ、4月に見学に来られることになりました。

◎柏原市

3月22日（金）柏原市の地域包括関係者に健康・生きがい就労トライアル事業を説明

「柏原市の地域包括関係者に集まってもらうので一緒に就労トライアル事業の説明をしてほしい」との府からの依頼により柏原市役所に伺い、さまざまな波及効果、事業を進めるに当たっての市と事業者の役割区分のほか、ハローワークに入ってもらい求人票、求職票を出してもらうことなどの具体を説明してきました。柏原市は令和6年度の府の事業に参加すべく前向きに検討を始められるようでした。

◎池田市

3月19日（火）池田市総合政策部へ健康・生きがい就労トライアル事業を説明

枚方市と同様に、健康・生きがい就労トライアル事業の意義に共感されている門屋氏の紹介で総合政策部政策企画課に伺いました。

就労トライアル事業の目的、効果や広がりについて説明したところ、「様々に波及効果があるので、池田市としても前向きに検討していきたい。自分は高齢者や就労分野を担当した経験が無いので、とりあえず3

月下旬の異動発令ができるまでに担当課に話しをする」とのことでした。

その他

◎宝塚市

3月17日（日）第2回たまご（他孫）育て応援講演会&交流会を開催（於：市立中央公民館）

～地域とともに「だから・まご育て」を広げよう～と、2月12日に続き市教育委員会社会教育課、子ども未来部子ども家庭支援センターとの共催で開催、市民等約30名が参加しました。

横浜のNPO 孫育てニッポン！ 棒田明子理事長に第1回に引き続き参画いただき、子ども未来部から3月発行したばかりの『だから・まご手帳』の内容紹介や市民に参加してもらいたい活動の紹介、交流会&ワークショップを実施しました。

4月の予定

18日（木）兵庫県情報政策課・県議会議員のフレミラ宝塚スマホ講座見学

19日（金）宝塚市協働のまちづくり推進会議

20日（土）ラボミーティング

26日（金）宝塚市ボランタリープラザ zukavo 運営委員会

健康な centenarian (センテナリアン)



啓発・研修事業分野

(担当：山口・山本)

スマホ講座関連

【フレミラ宝塚】

短期の「シニア向け機種限定コース」(3/6・3/13・3/27のPM)

3/6・3/13は「Google レンズ・QR コード・音声検索」の内容を大林講師の講義で行いました。

Google レンズでは「こんなこと出来るの!」「不思議やわ～」と大受けでしたが、カメラの焦点を合わせるのがなかなか難しく、高齢者ならではのハードルの高さを感じます。

今の時代必須となったQRコードの読み取りも、手が震えてうまく出来ない方も数名おられ、チューターが手取り足取りしながらの気長な指導が必要だと、改めて思いました。

そんな方達にこそ使ってほしいのが音声検索、文字打ち不要の検索方法を身に付けてもらいたく、スマホに話しかけましょう、尋ねましょうと事あるごとに促しています。

3/27 最終日はスマホ相談、復習を兼ねてチューターが様々な相談をお聞きしました。

全8回の授業でどれだけ理解してもらえたかは不明ですが、これを機会に少しでもスマホの便利さ賢さに目覚めて、今後活用していただけたらと切に願います。

「初心者向け Android コース & iPhone コース」(3/7・3/14のAM・PM)

昨年4月から一年にわたって実施してきたこのコースもいよいよ最終月。3/7はスマホ相談、3/14は修了式を行いました。

スマホ相談日は单元ごとに定期的に設け、個々の疑問解決を図って来ましたが、受講生だけでなくチューターにとっても、様々な質問を受けることで大変勉強になったようです。

修了式では、フレミラの宮田館長より受講生に修了証をお渡しいただき、その後茶話会形式で、受講生の方々の講座への感想を聞かせていただきました。

iPhone・Android 講座ともに概ね好評で、「最初さっぱり分からなかったスマホの扱いが、今では大体のことが出来るようになった」「友達に教えてあげることが出来た」「教室で知り合いが増えて、交友関係が広がった」「本当に楽しい講座だった」「もっと続けて欲しい (iPhone 受講生)」等、嬉しいお言葉をたくさんいただきました。時間ぎりぎりまで質問が飛び交ったり、受講生同士で情報交換したり、皆さんとのお別れを名残惜しみながら、一年間の講座が無事に終わりました。



【摂津市からの受託講座】

スマホサポーター養成講座 (3/2・3/9・3/16 摂津市立新鳥飼公民館 参加者6名)

摂津市からは昨年度もスマホ講座を受託し、初心者講座・サポーター養成講座を多数回実施しましたが、今回の受講者は一番レベルが高く、サポーター養成講座にふさわしいと言える少数精鋭メンバーでした。

大林講師もそれに応えるべく内容を濃くし、スピーディーに授業が進みました。

グループLINEの授業では、こんな時はどうする、こうしたらこうなった…等のコアな質問に対し、講師・チューター・受講者みんなが、ああだこうだと意見を出し合う場面もあり、我々も勉強になりました。

既に地域でスマホサポーターとして活動されているメンバーが多いそうなので、この講座がスキルアップのお役に立てたら幸いです。

2024年4月のスマホ講座予定

講座名	場所	開催日	時間	内容
はじめてのスマホ Androidコース	フレミラ宝塚	4月4日	10:30-12:00	オリエンテーションと基本操作
		4月11日	10:30-12:00	自分のスマホを使いやすく設
		4月18日	10:30-12:00	カメラの使い方
		4月25日	10:30-12:00	QRコードとGoogle レンズ
はじめてのスマホ シニア向けスマホコース	フレミラ宝塚	4月4日	13:30-15:00	オリエンテーションと基本操作
		4月11日	13:30-15:00	自分のスマホを使いやすく設
		4月18日	13:30-15:00	カメラの使い方
		4月25日	13:30-15:00	QRコードとGoogle レンズ

シニアの就労図鑑 完成 リリースのお知らせ

シニアの就労図鑑 2023 年版

シニア就労のリアル、聞くシニアの137のボイス
働いているシニア137人に話を聞いてみました



NPO 法人 健康・生きがい就労ラボ

ひょうごボランティア基金の助成を受けて『シニアの就労図鑑』を作成。4月下旬より関係各位にリリースする運びとなりましたので、本ニュースでもお知らせします。

この図鑑は、生きがい就労をしているシニア137人に取材を実施。リアルな声をお伺いすると共に、刻々と変わるシニアの就労事情を知ることができました。人手不足の追い風で昨年度からいっそう進化・深化して、職域、職種も拡大しています。また、雇用されるだけでなく、仲間たちと起業するコミュニティ・ビジネスやプチ起業するなど、よりアクティブになってきています。その一方で、スマホが使えないなどシニアならではの事情などで就労先とのミスマッチが起こり、思い通りの就労ができずにいる方も多数存在していること、学び直しをしていないために仕事に馴染めず就労を中断している事例にも出会いました。そして、学び直しと学びほぐしの重要性を改めて感じ、この図鑑では、情報提供だけでなく、ワークシートや活動記録を付しています。この図鑑がシニア就労の一助となれば幸いです。

A5 サイズ 2穴バインダー式 42 ページ

構成

情報提供部

2023年は、前半は就労、後半は求職活動というシニア、2年後の就労事情はどのようになっているのか？

なぜ、ミスマッチ？ シニア就労の原因は？

学習者の就労サポート 働き方から学ぶためのヒント

シニアの就労はカッコイイ！ 人生後半をスマートに暮らすためのヒント

シニア就労紹介部

70代 専業主婦 週1 保育士 (65歳)

60代 専業主婦 マンション サイクル観光ガイド (75歳)

60代 専業主婦 近所新ガーターナー (63歳)

60代 専業主婦 近所新ガーターナー (63歳)

ワークブック 学びの記録 活動記録部

では、何を学びたいのか、何を学びたいのか、何を学びたいのか

私の生き方、これまでについて
人生チャート、これからで

活動の記録
いろいろなセミナーや学びを記録しよう！

ショートワーク
ボランティアの記録
ボランティアの記録を記録しよう！

ここおる通信

